

ブラインドサッカーブラジル代表チームを品川歴史館で “お・も・て・な・し”

～ 東京 2020 大会ブラジルチームの事前キャンプ誘致に向けて！ ～



パラリンピック 4 連覇中で世界ランク 1 位のブラインドサッカーブラジル代表チームが平成 29 年 3 月 24 日（金）、品川歴史館（大井 6-11-1）を訪問し、日本の歴史・文化等にふれました。

はじめに、日本代表との国際親善試合に合わせて来日していた同チーム選手 12 人は、同館学芸員から同館の概要説明を受け、実際に同館が所蔵する貝塚や土器に触れました。



続いて、歌と踊りのおもてなし。会場を講堂に移し、用意されていた浴衣に身を包み、手ぬぐいを肩にかけると早くもテンションアップ。日本在住のブラジル人演歌歌手エドアルド氏の歌にあわせ、マラカスやタンバリン等でリズムをとっていました。また、区民に親しまれ歌い踊り継がれている“品川音頭”が会場に流れると、選手らは楽しそうに踊っていました。



さらに和室では、日本の味覚のおもてなし。和服姿の茶道の先生から、一人ひとりにお茶と和菓子が手渡されました。初めて口にした選手らは「和菓子の甘さとお茶の苦みがマッチしている」「お茶は、ブラジルの飲み物“シマホン”と似た味がします」など話していました。



選手の皆さんは、品川区からのおもてなしを満喫した様子でした。

また、午後からは区立天王洲公園（東品川 2-6）で、日本代表と合同練習（非公開）を実施。合同練習では練習試合も行われ、本番さながらの白熱したゲームが展開されました。在東京ブラジル連邦共和国総領事館（東五反田 1）のレオナルド・コラレス代理領事も会場を訪れ、両チームに声援を送っていました。

